

# 高田保馬博士

# 顕彰会だより

2024.6  
第36号

発行・編集

高田保馬博士顕彰会

小城市小城町158-4  
桜城会館内  
電話 0952-71-1132

小さきは 小さきままに 花さきぬ  
野辺の 小草の 安けさを見よ

(大正五年作)



ごあいさつ

会長 上野保明

本日は江里口市長様はじめ多くの来賓の方々をお迎えして「高田保馬博士をたたえる会」を開くことができ、心から喜んでおります。

元旦早々、発生した能登半島に大きな被害をもたらした大地震や羽田空港における航空機の衝突事故のニュースが思いがけなく飛び込んでまいりました。尊い命を亡くされた方々に対し哀悼の気持ちを表すとともに、今なお不自由な避難生活をよぎなくされている方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く普通の生活状態に戻られることを願っております。

さて、本日の「高田保馬博士をたたえる会」も今年で二十九回目を迎えることが出来ました。これも皆様のご協力ご支援のお陰であると感謝しております。

社会学・経済学において優れた業績を残された高田保馬博士は、八十八歳で亡くなるまで学問に一生をささげられました。二年ほど前に高田保馬博士ゆかりの京都大学経済学部長様から、京都大学経済学部は、二〇一九年に無事一〇〇周年を迎えたので、二十一世紀に世界で活躍する若手経済学者を顕彰する目的で、二〇二二年度から高田博士の名前をつけた「高田保馬記念講演会」を開催したいという申し出がありました。ご遺族の方から「光栄なことです」と喜ばれて開催される運びになりました。それほど博士の業績が称えられているのだと驚きました。

私もその講演会に昨年の五月に参加してまいりました。高田先生の後について研究されている大学の若い先生方の熱心な議論が戦わされており、その

レベルの高さに驚きました。そのような先生方に尊敬された高田博士はすごい方だと改めて思い知らされました。

三日月小学校では四年生の皆さんが「総合的な学習の時間」に高田博士の生き方や考え方などをいろいろ学んでいます。この後、小学四年生や中学二年生の児童生徒たちが高田先生について学んだことや自分の将来をどう考えているかを発表してくれましたので、しっかりと聞いてほしいと思います。

子供たちの先生の学問に対する真摯な態度や自分のめあてを達成するためのあくなき追求の姿勢、また、周りの人に対しては優しく接するといった生き方に感心し、自分の将来についても真剣に考えているのには驚かされています。

このように先生の生きた姿に学んだ子供たちが、将来自分の目標を達成するよう努力を続けていってほしいと思っております。

今年も多くの皆さんに作品を応募していただきましたが、入賞された人たちの表彰を後程行います。入賞された作品はホワイエに展示していただきますので後程ゆつくりご覧ください。

高田博士顕彰会は、博士の業績と遺徳を顕彰し、青少年の健全育成と社会文化の向上を目指して、平成六年の設立以来活動を継続してまいります。また、本日は昨年講話をしていただきました諫早市の鎮西学院大学教授で高田博士のことを精力的に取り組んでおられる吉野浩司先生においでいただいたお礼を申し上げます。

最後になりましたが、今後とも、高田博士顕彰会の活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご来場の皆様のご発展を祈念いたしまして、挨拶と致します。

第二十九回高田保馬博士をたたえる会



▲書のパフォーマンス



▲開会式



▲意見発表



▲意見発表

高田保馬博士をたたえる会

令和五年度(第二十九回)

主催 高田保馬博士顕彰会  
共催 小城市教育委員会

第一部 アトラクション

○書のパフォーマンス(三日月書道愛好会)

第二部 式典

- 一、開会のことば
- 二、主催者代表の挨拶
- 三、来賓の祝辞
- 四、来賓紹介
- 五、祝電披露
- 六、意見発表
  - 「高田保馬博士に学んだこと」 三日月小四年 犬山 諒哉さん
  - 「夢は一生心に持ち続けよう」 三日月小四年 篠原 瑠花さん
  - 「高田保馬博士の生き方から学んだこと」 三日月小四年 伊藤 新さん
  - 「将来の夢」 三日月小四年 森 菜々美さん
  - 「私のスタート」 三日月中二年 森 榎那子さん
  - 「夢と目標」 三日月中二年 坂井 美奏さん
- 七、アトラクション第二部
- 八、高田保馬博士顕彰記念書道・文学作品コンクール表彰
  - 書道の部「顕彰会賞」 金賞 銀賞 銅賞
  - 文学の部「顕彰会賞」 金賞 銀賞 銅賞
- 九、閉会のことば

高田博士顕彰書道コンクール入賞者

・顕彰会賞

大中美乃梨 (三日月小学校)

・幼稚園・保育園

金賞 出雲日奈子 (あしかりこども園)

銀賞 石坂いろは (牛津ルーテルこども園)

神代麗司 (ひなた村自然塾)

銅賞 横尾晴翔 (厳木さくらんぼ)

・小学一年

金賞 出雲悠真 (附属小学校)

銀賞 末次 悠 (三日月小学校)

柴田紅羽 (三日月小学校)

銅賞 野田一晴 (三日月小学校)

川原田隼也 (桜岡小学校)

相川大貴 (砥川小学校)

・小学二年

金賞 橋本陽佳里 (春日小学校)

銀賞 相川実穂 (牛津小学校)

三溝里奈 (三日月小学校)

銅賞 新郷湊人 (桜岡小学校)

北島こたろう (晴田小学校)

日吉菜緒 (三日月小学校)

・小学三年

金賞 挽地遼仁 (晴田小学校)

銀賞 福井駿太 (高木瀬小学校)

野田大晴 (三日月小学校)

銅賞 祝 恭佑 (桜岡小学校)

野中えれな (牛津小学校)

竹澤成美 (川上小学校)

・小学四年

金賞 鮎川すずな (桜岡小学校)

銀賞 松尾愛凜 (牛津小学校)

三溝由莉 (三日月小学校)

銅賞 石井杏奈 (三日月小学校)

梶尾理沙 (牛津小学校)

吉岡椿姫 (附属小学校)

・小学五年

金賞 森 心紅 (桜岡小学校)

銀賞 楠原衣織 (川上小学校)

白水優愛 (春日北小学校)

銅賞 川頭瑛果 (三日月小学校)

大島陽菜 (三日月小学校)

祝 恭美 (桜岡小学校)

・小学六年

金賞 香月悠太 (三日月小学校)

銀賞 花島汐音 (東原摩舎中学校)

鐘ヶ江美奈美 (三日月小学校)

銅賞 西 紀子 (桜岡小学校)

岸川璃音 (晴田小学校)

相川仁美 (牛津小学校)

・中学一年

金賞 大中愛美 (三日月中学校)

銀賞 荒木梨沙 (鍋島中学校)

神代詩歩 (附属中学校)

銅賞 品川美采樹 (東原摩舎中学校)

小島颯斗 (東原摩舎中央校)

陣内仁美 (三日月中学校)

・中学二年

香月 恵 (三日月中学校)

金賞 柴田莉緒 (小城中学校)

銀賞 岸川瑞希 (小城中学校)

角希沙羅 (三日月中学校)

銅賞 加藤美那 (三日月中学校)

岸川 凜 (東原摩舎中央校)

・中学三年

金賞 石井凜果 (三日月中学校)

銀賞 前田さくら (三日月中学校)

武廣花菜 (小城中学校)

銅賞 久保碧唯 (三日月中学校)

石田莉央 (三日月中学校)

篠原羽風 (三日月中学校)

・高等学校・一般

金賞 伊東道子 (一般)

銀賞 香月沙菜 (佐賀農業高校)

田中 蓮 (佐賀農業高校)

銅賞 弦巻千文 (一般)

三浦和愛 (佐賀農業高校)



顕彰会だより

高田博士顕彰文学作品コンクール入賞者

・顕彰会賞

多久島真理子(一般)

・小学校低学年

金賞 出雲悠真(附属小学校)

銀賞 西津雄晴(砥川小)

・小学校高学年

金賞 向井広輝(三日月小)

銀賞 西村妃葵(三日月小)

井上律希(三日月小)

銅賞 江島悠月(桜岡小)

平川蒼乃(砥川小)

與儀穂香(桜岡小)

・中学校の部

金賞 石井凜果(三日月中)

銀賞 川頭龍成(三日月中)

大久保来美(三日月中)

銅賞 森 榎那子(三日月中)

秀島蒼空(三日月中)

牛島彩葉(三日月中)

高校・一般の部

金賞 角本久子(一般)

銀賞 池田照美(一般)

西村征子(一般)

銅賞 手塚式代(一般)

出雲美穂(一般)

牧瀬清隆(一般)



小学生の意見発表

高田保馬博士に学んだこと

三日月小四年 犬山 諒哉

ぼくは、総合的な学習の時間、郷土の偉人高田保馬博士について調べたことを今からしようかします。

博士は、小城市三日月町大字金田字遠江に三男三女の末っ子として生まれました。

明治三十年四月に佐賀市旧制佐賀中学校に入学しました。中学校までの道のりは、片道八キロメートルでした。ぼくが毎日通っている三日月小学校までの片道のなんと四倍です。登下校だけでも大変だっただろうなあと思います。

中学校の時、おべん当を持って行かなければなりません。博士のおべん当は、竹でできていて、中身が、ごはん、つけ物、たくあん、うめぼしだったので、「みんなにからかわれてしまう」と思い、と中の竹林におべん当をかくして、帰りに食べていました。食べないまま家で持って帰れば、お母さんが心配するから、そのようにしていたのだらうなと思います。

次は、みなさんは、このような短歌をしてみてください。

小さきは、小さきままに花さきぬ  
野辺の小草の 安けさを見よ

この短歌の意味は、「小さい花や雑草は、小さい花なりに、一生けん命にさいている。野辺や道ばたにさいいてい

る花が安らかにさいているのを見てごらん)です。

これは、三日月小学校のしよく員室前にある石碑に刻まれています。ぼくが三日月小学校に入学した時、この大きな石はなんだろうと思っていました。四年生になって、博士の事を勉強して、ようやくその意味が分かりました。生まれてきた命は、大きい小さいに関係なく、それぞれに一生けん命にいきているんだとぼくは思いました。

博士は、中学校卒業後、熊本県の高等学校に入学しその後は、今の京都大学へ進学しています。昔の人で大学まで行くのはすごく大変だったと聞きました。でも、博士は熱心に勉強し、すばらしい成績をおさめています。特に、博士は、社会学と経済学に力を入れて勉強しました。この二つの領域において、日本の第一人者と言われるほどになったのです。二つの学問とも第一人者としてかつやくするなんてきわめていい例です。

博士は、大学こうしとなり、その後、色々な大学の教じゅもつとめました。その間、博士は、百さつにもぼる本を書いたり、たくさん論文を書いたり、学問に情熱を注ぎました。更に、後はいを熱心に指どうしたり、りっぱな学者を多く育てたりしています。また博士は、度々の外国留学のチャンスを見送っています。なぜかと言うと、年老いた母をおいて行くのは、しのびないと思つたからです。ロシアの大家トルストイに会うことが夢でしたが、けつきよくその夢がかなうことは有りませんでした。

最後に、ぼくの夢についてお話しします。ぼくの夢は、学校の先生になる

ことです。そのためには、友達を大切に、宿題もなるべく自分でかい決し、そして、家庭学習の時間をふやします。そして、なによりも生まれてきた命に感謝し、家族を大切にすること、このようなことを、ぼくは高田保馬博士のことを勉強して思いました。

### 夢は一生心に持ち続けよう

三日月小四年 篠原 瑠花

私が通っている三日月小学校の石碑には、「志は朽ちざるにあり」と書いてあり、私は、誰が書いたのか、どんな意味なのか、考えもしないで、いつも通りすぎていました。「高田保馬」という人がいることは、どこかで聞いて知っていましたが、いつたいどんなことをした人なんだろうと思っていました。

四年生になり、総合的な学習の時間に高田保馬先生について学習しました。三日月小学校の中で、高田保馬博士めぐりをしました。そのときに顔が分かり、なんと三日月小の校歌を作った人だということが分かりました。一番知れてうれしかったのは、「志は朽ちざるにあり」という言葉の意味です。「自分がやりたいと思ったことは一生心に持ち続けられる」という意味でした。私は、そのことを知り、夢は一生心に持ち続けようと思えました。

私の夢は、ダンスの先生になることです。曲に合わせておどったり、ふりつけをしたり、ダンスを教えたりすることが大好きなので、ダンスの先生は楽しそうだなと思ったからです。その夢を母に話すと、「ダンスが本当に好きな子は、家でもたくさん練習していると思うよ。ダンス教室へ行けば、上手な人がたくさんいるでしょう？今はダンス教室も増えて、ダンスの先生を目指してがんばっている子も多いだろうから、本当にダンスの先生になりたいと思ってるのなら、まずは上手なお姉さん達をこえるぐらいがんばらないとね。」と言われ、あきらめずに一生けん命ダンスの練習をしようと思えました。ですが、実際にダンスの練習をしていると、あるていどのところで、「できるようになったからもういい」と少ししか練習をせずに、終わってしまいます。そのあとは、ゲームをしたり、ユーチューブを見たりして、くつろいでしまいます。母から

「るかがくつろいでいる時間に、周りのみんなは、ダンスをがんばっているんだよ。るかはそのままいいの。」と聞かれ、高田保馬先生の「志は朽ちざるにあり」という言葉を思い出して練習をがんばろうという気持ちになりました。それ以来、家でもダンスの練習をがんばっています。高田保馬先生の言葉「志は朽ちざるにあり」をむねにきざみ、今後もダンスの練習を続け、上手になつていきたいです。

### 高田保馬博士の生き方から学んだこと

三日月小四年 伊藤 新

わたしは高田保馬博士の生き方について調べました。高田保馬博士は、

わたしと同じ十二月生まれです。保馬博士は、大正三年に京都帝国大学法科大学の講師になり、その後いろいろな大学の教授をつとめました。その間保馬博士は、本を百冊くらい書いて、たくさんさんの論文を書いたりして、学問に情熱を傾けたそうです。わたしは、本を百冊書くとすると途中で飽きてやめたいと思うはずですが、保馬博士は、それほど学問に情熱をかたむけていたのです。また、後には熱心に指導し、立派な学者を数多く育てていきました。保馬博士は、ロシアの大家トルストイに会うのが若いころの夢でしたが会うことはできませんでした。ヨーロッパやアメリカを見ることもありませんでした。保馬博士は、学問に対するきびしさの他、やさしい面も持っていました。気の毒な人を見ると、だまっていられない性格で、手をさしのべることも度々ありました。忙しい中にひまを見つけては短歌をつくり、その数は数千首におよび一級の歌人とほめたたえられました。わたしの学校に

小さな小さな花さきぬ  
野辺の小草の 安けきを見よ  
という短歌がぎざまれています。これは、「自分なりでいいから、一生懸命に人生を送ろう」という意味が込められた短歌です。  
わたしは、マンガ家になるのが夢です。理由は、おもしろいマンガをいっぱい作ってみんなを楽しませたいからです。わたしは、ドラゴンボールの背景や、キャラクターをまねしてマンガをかいています。また、アクションもかいたので、わたしが好きなアクションスターのジャッキー・チェーンや、ブルー

ス・リーのアクションをお手本にしています。マンガをかくときにいろいろなアイデアが思い浮かんで楽しいです。保馬博士が学問に情熱をかたむけたようにわたしも、もっと人にやさしくして、夢に近づきたいです。ですがまんが家になれるのは一人に一人くらいだそうです。保馬博士にも叶わない夢があったようにわたしも、マンガ家になれないかも知れませんが、ですが、その努力が将来につながることを信じています。わたしは、去年から大切にしている言葉があります。「まなぶはまねぶ」という言葉です。これは、父に教えてもらいました。活やくしているマンガ家や、保馬博士のことをたくさんまねして、成長につなげていきたいです。今年辰年です。辰は天にまい上がる生き物なので、これまでに以上にマンガ家に近づけるように努力します。

### 将来の夢

三日月小四年 森 菜々美

ずうつと勉強熱心で、いろいろな人に勉強を教えてください。  
これは、私が高田保馬さんについて調べてきて、皆さんに一番伝えたいことです。

高田保馬さんは、明治十六年、現在の佐賀県三日月町おおあざ遠江に三男三女の末っ子として生まれました。高校は、第五高等学校に入學し、とても素晴らしい成績をおさめていたそうです。高田保馬さんは、往復十六キロメートルもあつた道を

歩いて通学していたそうです。まさに、努力が実ったと言えるでしょう。ところで、みなさん、小さきは、小さきままに花さきぬ野辺の小草の安けきを見よという短歌を知っていますか。この短歌の意味は、「自分なりでいいから一生懸命人生を送ろう」という意味です。まさに、高田保馬さんの人生のようです。

私が一番感動したのは、私たちが見向きもしないざつ草にも愛情を示し、よく短歌を詠んでいたそうです。保馬さんは、学問に対する厳しさと反対に、優しい一面もある、とってもいい人だったそうです。

二番目に感動したのは、「勉強、勉強！」

と言う言葉を残して、永眠したことでした。最後まで勉強という言葉を残しておられて、想像を遙かに超えて、勉強が好きだったのでしょう。

高田保馬さんは、私のあこがれで目標です。私も、高田保馬さんのように、頭が良くなりたいです。頭がよくなくて、自分の将来の夢であるケーキ屋さんで役立てたいです。私は、友達と協力して、パンやケーキのお店を開くことが夢です。なぜかという、私は、小さい頃から料理が好きで、よく料理をおうちで作っていました。家で、あまい卵焼きを作ろうとしたときに、さとうが少なくてあまさが足りなくなった時があります。でも、とっても楽しかったです。そして、私が普段から心がけている言葉があります。それは、こころざしは、くちぎるにありこの短歌は、

「自分がやりたいと思ったことは、一生心に持ち続けられる」と言う意味です。私がかけてあげていることは、お母さんに料理を手伝ってもらってアドバイスを聞くことです。

高田保馬さんは、とっても優しい努力家です。保馬さんは、気の毒な人を見ると、だまっておれない性格で、手を差し伸べることもよくあったと言います。

高田保馬さんは、私にとってあこがれです。私も高田保馬さんのようになれたらいいなと思います。これで、私の発表を終わります。

## 中学生の意見発表

### 私のスタート

三日月中二年 森 榎那子

どんな食べ物、環境、生活なのか、これらは私が生物を見ているときに考えていることです。私は幼い頃から生物が好きでした。庭先でアリの行列を見つけると餌を運んでいるところをずっと見ていました。また、五歳から十歳までカブトムシを飼っていました。

動物園や水族館に行ったり、テレビ番組や本を見たりしてどんな生物がいるのか、絶滅しそうな生物、環境汚染による影響などについて学びました。

その中でも特に環境汚染で絶滅していく生物に興味を持ちました。人

間の身勝手な活動で住処がなくなる、食べ物がなくなくなる、敵が増える、命を落とす、このようなことが自然界で起きています。これらのことにより数が減る、絶滅する生物が出てきています。私はこのことを知り、とても心苦しくなりました。

二億年前は千年で一種類、百年前は一年で二種類、一九七五年は一年で千種類、現在は一年で四万種類以上の生物が絶滅しています。一年で四万種類ということは、一日で百種類以上が絶滅しているということになります。このことは様々なメディアで紹介されていますが、絶滅している生物の種類はあまり変わっていません。このままだと二〇五〇年までにすべての生物の約四分の一が絶滅してしまいます。

私はこのことを防ぐためには私たちが全員が環境汚染について取り組まないといけないと思います。だから、私は生物学者になりたいです。生物を研究して、様々な生物が生きやすい環境を作り、生物多様性を作りたいと思います。人間の手で壊してしまったものは人間の手で戻していきたいです。まず、絶滅しそうな生物がなぜ減っているのかを調べ、解決策を考えます。次にどんな環境が生きやすいのかを調べ、どうすればその環境が作れるのかを考えます。そして、この活動をもっとたくさんの人に知ってもらい、みんなが取り組めるようにします。

環境汚染は巡り巡って私たち人間にかえってきます。水質汚染で汚れた海、川などからとれた魚を食べた、虫も食べないほど、農薬をかけ

た野菜を食べたり、空気汚染や病原菌の蔓延などによって病気になる、など人間にも影響が出ます。環境を改善すると私たち人間にも良いことがわかります。今よりももっとたくさん生物と触れ合え、水族館や動物園で今は展示されていない生物が未来では見ることができるようになればいいです。私はそんな未来を想像するとわくわくします。

人と生物が共存できる世界を作る。これが私の夢です。生物学者になることがゴールではなく、スタートなのです。この地球上のすべての生物のためにこれから夢に向かって頑張りたいと思います。

### 夢と目標

三日月中二年 坂井 美奏

私は、今夢は何ですかときかれると答えられる自信がありません。私は自分の将来が想像できず、自分の将来を決めることはできませんでした。ですが、私の目標は決まっています。人のために行動できる人、人を笑顔にできる人になることです。私は、この目標をもとに将来の夢を決めたいなと思っています。私は、人見知りでありながらも目立ちたがりやでもあるので、仲の良い人でないと気楽に話すことができません。だから、それをこくふくするためにこれまで学校行事などで、劇で主役を演じてみたり、ピアノの伴奏をしてみたりいろいろなことに挑戦してみたい。そして少し自分に自信が持て

るようになり、前よりいろいろな人と話せるようになりました。そして、こうした活動をしていくなかで、私は、あることに気がつきました。それは、どんなことにも、たくさんの人の助けや支えがあるからこそ良いものをつくり出すことができるということです。私は今まで完成されたものしか見たことがなく、その大変さを知ることがありませんでした。でも、今回劇をしたことは、自分のことをとても成長させてくれました。一つの劇をするのに、裏方の人もふくめて何十人の人と何日もの練習をしました。セリフを覚えるのにも、時間がかかり、ふりをつけるのも覚えなくてはいけなくとても大変で、その間、他の人たちも色々な活動をし本番前日まで練習をつづけました。そして、本番では、自分が思っていた以上の反応があり、劇が終わったあと色々な人から演技をほめられたり、笑顔になってくれたりして、とてもがんばってよかったなと幸せな気持ちになりました。裏で、人のために動く人たちの姿、表では人を楽しませる姿、そんな姿の人たちを見てきたからこそ、私は人のために行動し、人を笑顔にすることを目標に生きていきたいと思いました。

私は、将来の自分が想像できないとはじめの方で言っていました。今でもそれはかわりません。ですが、将来この目標を自分の夢につなげることができたら、きつと自分の未来が明るくなるだろうと思えました。今もこれからもこの目標を胸に、生活していきたいと思えます。

三日月が生んだ社会・経済学者高田保馬

志在不朽

あらすじ

社会学と経済学研究で、偉大な業績を残した、郷土のスーパースター高田保馬。貧しい人の味方になり、どんな苦境にも屈せず志を貫いた高田。「人間の値打ちは百年後にきまるといって続けた高田の生き様は、いま全国的に再評価されています。」

そんな高田を育んだのは、ふるさと三日月の深い歴史と風土であった。文学者でもあった高田が残した校歌は、県内に十一もあり、いまでも三日月小・中学校で歌われ続けている。民族の対立がなくなり、世界平和が来るよう期待した高田の夢。去年生誕百四十周年でもある高田の想いが、三日月の青少年にどう伝わるか。高田の活躍を支えた母クスと妻キヌの存在も、映画の大きな要素となる。



製作

- ・小城市映画製作実行委員会三日月部会で作るふるさと映画
- ・三日月小・中学校と連携した映画づくりを国指す
- ・三日月町在住または出身者を中心にスタッフとキャストを募集する
- ・ドキュメンタリーとドラマを合わせた、60分間ドキュメンタリー映画とする
- ・市民や団体の協賛金を集め製作資金とする
- ・小城市教育委員会の後援を頂き、映画完成後は短縮版を学校教育用に寄贈する
- ・映画案内役は講談師神田紅さん（日本講談協会会長）



映画案内役 講談師 神田 紅 さん

製作スケジュール

- 2023年 4月～ 高田保馬勉強会、地域の歴史勉強会、地域の祭り撮影他
- 2024年 4月 脚本完成
- 2024年 6月 オーディション
- 2024年 10月 月撮影開始
- 2025年 2月 クランクアップ、編集開始
- 2025年 7月 映画完成、ドゥイング三日月上映会 以降各地で上映会

# 高田保馬博士顕彰会 会員名簿 (会費納入者・会費納入団体)

(令和5年度) (順不同・敬称略)

## 1 個人会員

氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区
穂山 千鶴子	社	合瀬 健一	大地町	谷田 信二	三ヶ島	深町 浩二	今市
池田 正恭	小城町	大野 敬一郎	小城町	堤 憲治	本告	藤川 善行	久本
上野 保明	佐織	香月 千エミ	長神田	永橋 啓機	三ヶ島	藤木 卓一郎	江口
江口 尚久	久本	木塚 里美	五条	西 正博	三ヶ島	古川 康	久米
江里口 秀次	小城町	末次 正二郎	初田	西村 征子	東分	山田 トモ子	長神田
江里口 義広	長神田	多久島 眞理子	佐賀市	野中 暁	小城町		
大串 博志	初田	田中 正照	牛津町	百武 洋子	江利		

## 2 団体会員

団体名	団体名	団体名	団体名	団体名	団体名
大地町自治会	三ヶ島自治会	遠江自治会	江利自治会	戊自治会	本告老人会
立物自治会	堀江自治会	久本自治会	五条自治会	高田自治会	土生自治会
袴田自治会	深町自治会	社自治会	樋口自治会	長神田自治会	吉原自治会
芦田自治会	島溝自治会	金田自治会	大寺自治会	仁俣自治会	甲柳自治会
道辺自治会	四条自治会	立石自治会	佐織自治会	本告自治会	

## 3 寄付者 大道工業株式会社

## 4 令和5年度 高田保馬博士顕彰会収支報告書

収 入		支 出	
1. 前年度繰越金	283,511	1. 事務費	32,511
2. 会費	287,720	2. 会議費	0
3. 市助成金	90,000	3. 事業費	297,072
4. 寄付金	100,000	4. 予備費	5,000
5. 雑収入	2		
計	761,233	計	334,583

収入 ¥761,233 - 支出 ¥334,583 = 差引算残高 ¥426,650

【事務局より】

### 顕彰会へのご入会と令和6年度会費納入についてのお願い

顕彰会活動に当たって、会員の皆様のご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げます。  
 本年も顕彰会へのご入会と令和5年度会費納入方よろしく申し上げます。

#### ○年会費

個人会員……………2,000円  
 団体会員  
 部落……………各戸 100円  
 老人会・婦人会等…お一人様 100円

#### ○納入方法

J A三日月支所の高田顕彰会へ入金してください。  
 (口座番号0014648)※氏名、地区名は漢字でお願いします。  
 顕彰会は皆様のご会費で運営しています。  
 ※お問い合わせ先 小城市文化課 (☎73-8809)